

問1 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。（2024年

長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 | 2. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 4. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 |
|--|--|---|---|

問2 明治維新が進むなか、都市部を中心に欧米の文化や生活様式が取り入れられ、社会が急速に西洋化した現象を何と呼びますか。（2026年

栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 版籍奉還 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 1871年の廃藩置県に関する略年表の説明において、新政府が地方統治の実権を完全に掌握するために導入した仕組みの背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米諸国の制度にならい、三権分立を地方レベルで実現するために知事と議会を分離させるため。 | 2. 各藩が抱えていた多額の借金を整理するため、地方自治権を旧藩主に返還させる必要があったため。 | 3. 武士の特権を保護し、全国の不平士族が政府に対して反乱を起こすのを未然に防ぐため。 | 4. 藩知事に任命されていた旧藩主から統治権を回収し、官僚である府知事・県令が政府の意向を反映させるため。 |
|---|--|---|---|

問4 明治政府が欧米列強に対抗し、日本の自立と近代化を図るために掲げた、経済を発展させて国を豊かにし、それによって軍隊の強化を目指した基本政策を何と呼ぶか。（2017年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 富国強兵 | 2. 文明開化 | 3. 版籍奉還 | 4. 大政奉還 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 明治政府が土地所有者に地券を発行し、地価の3%（のちに2.5%）を現金で徴収する制度を整えた主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 封建的な土地所有を維持し、旧大名たちが引き続き領地を統治しやすくするため。 | 2. 土地の所有権を政府が独占し、農民から耕作の権利を取り上げるため。 | 3. 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。 | 4. 土地の売買を禁止し、農民が土地を失って都市へ流入するのを防ぐため。 |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問6 地租改正の実施にあたり、明治政府が土地の所有者に発行した証書の名称と、その後の税率の変化に関する記述として適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の所有権を示す「地券」を発行したが、重い負担に対する反対一揆が激化したため、税率は地価の3パーセントから2.5パーセントに引き下げられた。 | 2. 「株札」を発行して土地の所有を認めたが、農民の生活を保護するために、税率は収穫量の3パーセントから1パーセントに大幅に緩和された。 | 3. 「地券」を発行して土地の売買を自由にしたが、政府の軍事費増大を理由に、税率は地価の2.5パーセントから3パーセントに引き上げられた。 | 4. 土地を耕作する権利を示す「検地帳」を作成したが、士族の反乱を抑えるために、税は現金ではなく再び米で納めることが認められた。 |
|--|--|---|--|

問7 明治政府が文明開化を推進するなかで、江戸時代まで手紙や荷物を運んでいた飛脚に代わり、全国どこでも均一の料金で信書を送ることができるよう整備した近代的な通信制度を何といいますか。（2019年 奈良県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 郵便制度 | 2. 電信網 | 3. 飛脚制度 | 4. 電話制度 |
|---------|--------|---------|---------|

問8 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 2. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 3. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 | 4. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|

問9 明治政府が「官営模範工場」を設立した背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日米修好通商条約によって失った関税自主権を取り戻すための、外交的な交渉材料とするため。 | 2. 金融恐慌による深刻な不況を克服するために、政府が失業者を雇用する公共事業として行うため。 | 3. 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。 | 4. 第一次世界大戦による大戦景気を背景に、不足していた重工業製品を自給自足するため。 |
|--|---|---|---|

問10 16世紀の伝来から江戸時代の禁教令を経て、明治初期まで続いたキリスト教への制限が、1873年に「五榜の掲示」の撤去という形で事実上解禁された理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため | 2. キリスト教の布教活動が、日本の近代産業の発展に不可欠であると政府が判断したため | 3. 岩倉使節団が欧米の視察から帰国し、キリスト教を国教とすることを決定したため | 4. 民衆の間でキリスト教が急速に広まり、政府が取り締まることが不可能になったため |
|---|--|--|---|

問11 明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の文化や制度を積極的に導入しました。これにより、まげを落として洋服を着たり、パンや牛肉を食べたりするなど、西洋風の生活様式が広まった風潮を何といいますか。（2022年 青森県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 版籍奉還 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|

問12 明治初期に実施された屯田兵の制度について、その目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 江戸時代から続く足軽の身分を維持し、世襲によって北方の国境警備を継続させること。 | 2. 琉球処分に伴う清との緊張に備えるため、九州や沖縄から北海道へ兵士を移住させること。 | 3. 秩禄処分などで生活の手段を失った士族の救済と、北海道の防衛・開拓を同時に行うこと。 | 4. 国民皆兵の原則に基づき、徴兵令によって集められた農民を北海道の警備に専念させること。 |
|---|--|--|---|

問13 明治政府が「文明開化」と呼ばれる大規模な生活や制度の西洋化を後押しした理由の一つに、外交上の大きな目的がありました。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸時代から続く鎖国体制を維持するために、外国の技術だけを部分的に取り入れるため。 | 2. 武士の特権を維持し、江戸時代の身分制度をより強固なものに再編するため。 | 3. 日本独自の伝統文化を否定し、すべての国民をキリスト教徒に改宗させるため。 | 4. 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問2	答え 1 文明開化	明治初期、新政府の近代化政策や欧米文化の流入により、人々の生活が大きく変化しました。ガス灯の設置、レンガ造りの建物、牛鍋を食べる習慣の広がりなどがその象徴です。選択肢の「殖産興業」は産業の育成、「富国強兵」は経済発展と軍隊の強化を目的とした政策を指します。
問3	答え 4 藩知事に任命されていた旧藩主から統治権を回収し、官僚である府知事・県令が政府の意向を反映させるため。	1869年の版籍奉還の時点では、旧藩主がそのまま「藩知事」として地方統治を続けており、実質的には藩の独立性が残っていました。明治政府は、全国から税を徴収し軍隊を組織する強力な国家を作るため、廃藩置県によって藩知事を免職し、政府の意向に従って動く「府知事」や「県令」を派遣して、地方の行政・財政を直接管理下に置くことを目指しました。
問4	答え 1 富国強兵	明治政府は、欧米の先進国に追いつき、日本の独立を維持するために、経済力と軍事力を同時に高める必要があると考えました。この方針を実現するために、官営模範工場の設立などの「殖産興業」や、国民に兵役を課す「徴兵令」などが実施されました。
問5	答え 3 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成（富国強兵・殖産興業）に必要な資金を安定して得る必要がありました。収穫高ではなく地価を基準とした金納制度を導入することで、毎年の予算を立てやすくし、確実な財政運営を行うことが地租改正の大きな目的でした。
問6	答え 1 土地の所有権を示す「地券」を発行したが、重い負担に対する反対一揆が激化したため、税率は地価の3パーセントから2.5パーセントに引き下げられた。	明治政府は地租改正を行う際、土地の所有者に「地券」を発行し、その土地の所有権を正式に認めました。当初、地租は地価の3%に設定されましたが、この負担は江戸時代の年貢と同様に重く、農民による大規模な反対一揆（地租改正反対一揆）が全国で起こりました。これを受けた政府は、1877年に税率を2.5%に減らす対応をとりました。
問7	答え 1 郵便制度	明治時代、政府は近代国家の基盤を築くために全国的な通信網の整備を行いました。1871年（明治4年）に導入されたこの制度は、それまでの飛脚に代わる組織的な仕組みであり、切手を用いた前払いの均一料金制を特徴としています。
問8	答え 4 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問9	答え 3 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。	当時の日本は、欧米から輸入される安価で高品質な製品に対抗する必要がありました。そこで政府は自ら富岡製糸場などの官営模範工場を経営し、お手本となる技術を民間に示すことで、日本の産業全体のレベルを引き上げようとしてしました。これにより、後の民間資本による産業の発展の基礎が築かれました。
問10	答え 1 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため	岩倉使節団が条約改正の交渉で欧米を訪れた際、キリスト教の弾圧が「野蛮な行為」として厳しく非難されました。不平等条約の改正を実現し、文明開化を推進して近代国家として認められるためには、信教の自由を認める姿勢を示す必要があったため、政府は掲示を撤去しました。
問11	答え 1 文明開化	明治初めに、欧米の近代的な文化や風俗が急速に広まった現象を文明開化といいます。都市部を中心に、煉瓦造りの建物、ガス灯、鉄道、郵便制度なども普及しました。他の選択肢は同時期の政治・経済政策ですが、生活様式の変化そのものを指す言葉ではありません。
問12	答え 3 秩禄処分などで生活の手段を失った士族の救済と、北海道の防衛・開拓を同時に行うこと。	明治政府は、廃藩置県や秩禄処分によって特権と収入を失った士族の不満を解消するため、彼らに仕事を与える「士族授産」を進めていました。屯田兵は、ロシアに対する北方の守りを固めるという国防上の目的だけでなく、行き場を失った士族に土地を与えて自立を支援するという、社会政策としての重要な側面を持っていました。
問13	答え 4 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は国家の悲願でした。西洋の文化や制度を積極的に取り入れることで、日本が欧米に劣らない「文明国家」であることを対外的に証明し、対等な立場での条約交渉を目指すという背景がありました。そのため、単なる流行としてではなく、国策として西洋化が推し進められました。